

「市史編さん基本構想（素案）」に対する意見募集の結果について

「市史編さん基本構想（素案）」に対する意見募集を行ったところ、下記のとおり意見をいただきました。意見の概要とそれに対する八王子市の考え方は以下のとおりです。意見をお寄せいただいた方々に厚くお礼申し上げます。

意見募集期間 平成21年3月1日（土）から3月30日（月）まで  
提出意見数 8通（市内在住者8名）

NO.	意見の概要	市の考え方
市史編さんの基本方針について		
1	短い編さん期間ではあるが、ぜひ綿密な調査を実施してほしい。	市史編さんにあたっては、資料調査・研究を行うための専門部会を設置し、専門家による質の高い調査を行っていきます。
2	歴史上の出来事が、それぞれ独立した形で終わらないよう、前後の時代の中で解説してほしい。また、八王子市だけでなく近隣の地域との関わりにも配慮してほしい。	各時代の出来事の歴史的なつながりや地域的なつながりにも配慮し、広い視野からの編さんを行いたいと考えます。
3	八王子の市史としての特徴を出してほしい。素案からは基本方針の意図が感じられない。また、市史の内容について、目次を示してほしい。	八王子には、原始・古代からの豊富な資料があり、これらを総合的に取り上げることにより、八王子の市史としての特色が出るものと考えます。「基本方針」としては、市民を軸とすることを考えています。目次については、資料調査が一定の段階に達した時期にお示ししたいと考えます。
4	飾るための市史ではなく、活用される市史を編さんしてほしい。研究者だけでなく次世代の教育に活用されることも重要である。	活用のための基本となる調査・研究をしっかりと行い、次世代に継承するためにも収集した資料の保存を図りたいと考えます。
5	「男女共同参画都市」を宣言している八王子市の市史として、できる限り女性の視点での記述を取り入れるべき。また、児童、高齢者、障害者などの視点からの記述も可能な限り取り入れるべきである。	市史編さんにあたっては、女性や児童、高齢者や障害者などを含め、生活する市民の視点からの編さんに努めていきたいと考えています。
6	「世界連邦平和都市」「非核平和都市」を宣言している八王子市の市史として、近現代における戦争が八王子にどのような影響を与えたのかについて取り上げるべきである。また、昭和期前半の体験者の証言を集めることも検討すべきである。	近現代における戦争については、地域に関わる大きな歴史的事実として、調査・研究を進めていく予定です。
7	特定の大学の研究者に一括して市史編さんを依頼するようなことは避けるべき。市史は、新たに発見された歴史的資料を取り込み、日常的に郷土史研究に役立つものでなくてはならない。地元で地道に研究を続けている民間研究者の研究成果を取り込む姿勢が必要である。	市史編さんを一括して特定の大学の研究者に依頼する予定はありません。編さんのための資料調査・研究、執筆などは、大学の研究者や地元研究者で構成する専門部会により行っていく予定です。また、郷土史研究の参考ともなるよう、資料編の刊行を予定しています。

NO.	意見の概要	市の考え方
8	市史編さんにあたっては、次世代に何を受け継いでもらいたいかを検討すべき。市史の教育版を用意し、市内の中学3年生に卒業記念で配付することも考えるべきである。	八王子の歴史や伝統文化を次世代に受け継いでいけるよう、広く市民の意見を聞きながら編さんを進めていきます。市史普及版の企画や作成は、市史編さん終了後の課題と考えます。
9	市史編さんにあたっては、市民の十分な理解を得る必要がある。公聴会を開くなど、市民の中の潜在的な歴史愛好者たちの意見の集約することを検討すべきである。また、DVDやインターネットによる、市史の市民への普及も重要である。	市史編さんにあたっては、市民講座やシンポジウムの開催、市史研究の刊行などにより、編さん過程における成果を示したり、ご意見を聞けるようにしたいと考えています。ニューメディアの活用は課題であると考えています。
10	ニューメディアの活用に関しては、媒体の劣化、機器の陳腐化等、利用の持続性も考慮し、十分な検討を行ってほしい。	ニューメディア活用を検討する際の参考にさせていただきたいと考えます。
11	市史編さん事業で収集した資料を保管、利用できる施設として文書館の建設を検討してほしい。	市史編さん事業の過程で収集した資料を保存、管理し、広く市民に公開するため、将来に向けて施設や組織の整備を検討していきたいと考えています。
<b>市民協働について</b>		
12	市内を中心に歴史、文学、芸術等の研究を行っている団体であるが、今後、市史編さん事業と協調していきたい。	市史編さんにあたっては、地域の研究団体や個人と連携するなど、市民協働をすすめていきたいと考えています。
<b>市史の内容について</b>		
13	資料編の冊数をできるだけ多くしてほしい。	市史編さんの期間などを考慮し、本編8冊、資料編6冊の刊行を予定しています。資料編がより充実した内容となるよう努めていきたいと考えています。
14	人物から見た八王子、出来事から見た八王子を語る市史を編さんしてほしい。また、合併した町村の歴史を含めてほしい。	市史の編集の際の参考とさせていただきます。なお、市史では合併した旧町村の歴史も含めて記述する予定です。
15	各巻に索引、年表、地図などを掲載する。人物については人物編として掲載する。	索引、年表、地図などの掲載、人物の扱い方については、市史の編集において考慮したいと考えます。
16	自由民権運動や困民党事件も取り上げてほしい。	これらのことは、近現代史における重要な事柄と考えています。
17	市町村合併や中核市移行への対応など、市の行政に関する事項を、国・都の政策への対応も含めて具体的に記述してほしい。	これらのことは、近現代史における重要な事柄と考えています。
18	資料編には、各時代の総論、資料の解説、脚注、読み下し文なども盛り込んでほしい。また、資料編は市制100周年以降も引き続き刊行してほしい。	資料編の構成については、市史の編集の際の参考とさせていただきます。資料編は6冊の刊行を予定しており、引き続き刊行は市史編さん終了後の課題と考えます。

NO.	意見の概要	市の考え方
その他		
19	市史編さんにあたっては、郷土資料館との連携をとる必要がある。	市史編さんにあたっては、郷土資料館をはじめ、庁内の関係所管と連携していく必要があると考えています。
20	「年」の表記は、全巻を通して西暦と元号の両方を併記するべきである。	年号の表記方法については、市史の編集の際の参考とさせていただきます。